



WEB公開用

APAIE2023 バンコク大会 《STUDY IN JAPAN 日本合同ブース》 出展団体アンケート集計結果

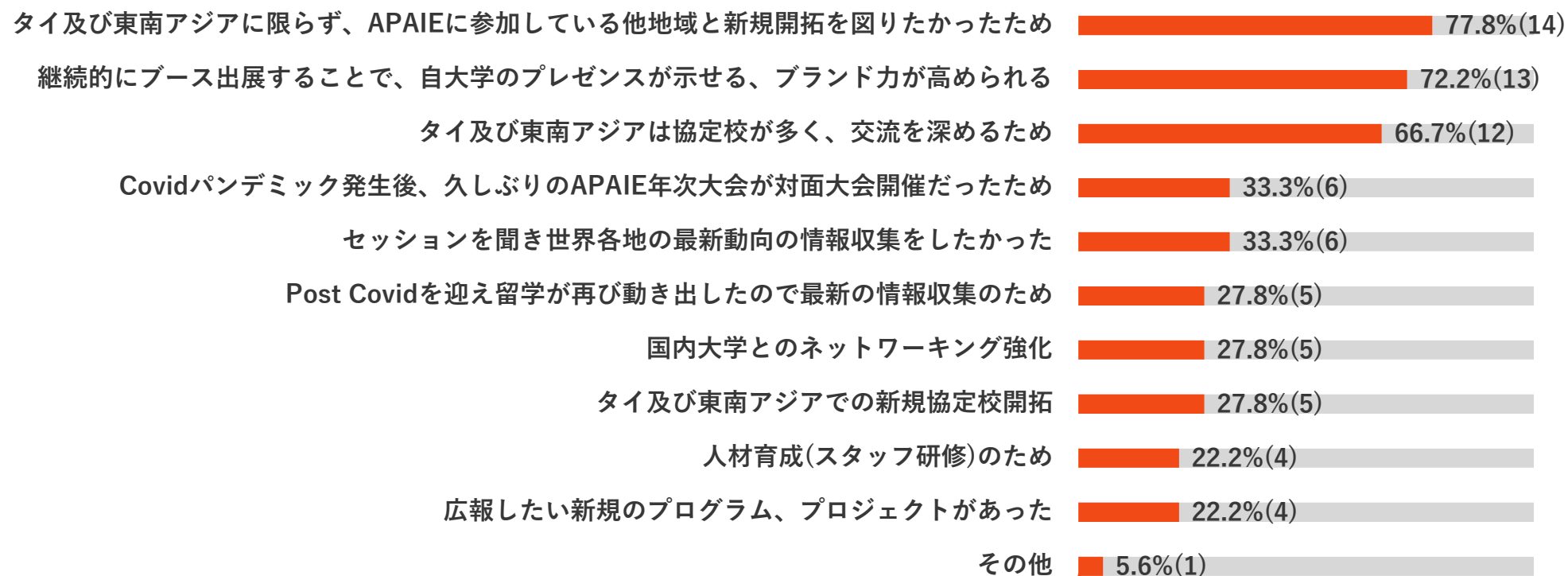
※回答：出展18団体中 18団体より(回答率：100.0%)

◎大会終了後(2023年5月)にWEBアンケートを実施。

◎実際に大会に参加した方に回答を依頼。

1. APAIE2023バンコク大会に出展した理由を教えてください。

● 出展した理由 複数選択可

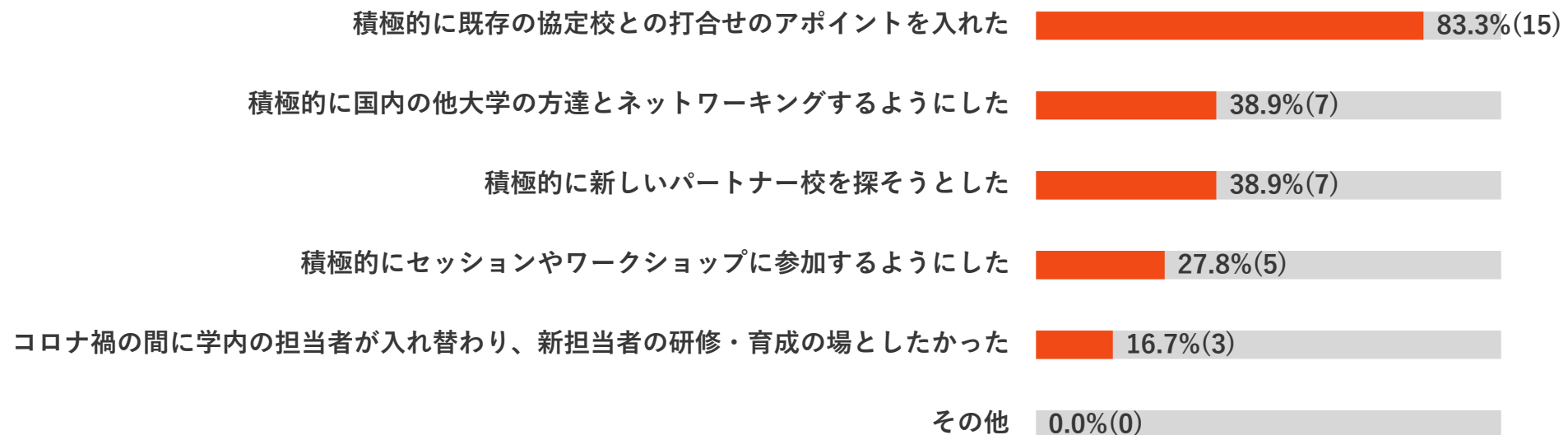


・タイ、東南アジア地域以外の協定校とのミーティング実施のため

(回答数=18)

2. 今回のAPAIEは「久しぶりの**対面**のAPAIE大会」でした。 出展参加にあたり、特に**意識した点**は何でしょうか？

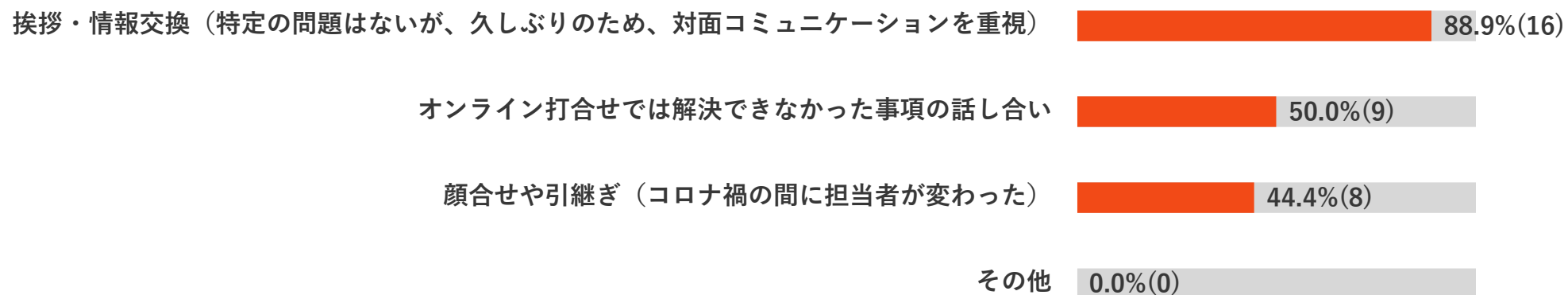
● 意識した点 複数選択可



(回答数=18)

3. 既存の協定校とは、**どのような打合せ**をされましたか？

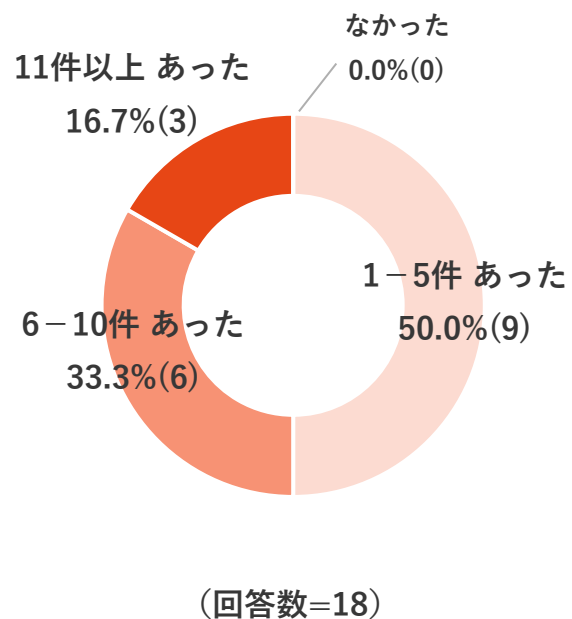
- 打合せの内容 複数選択可



（回答数=18）

4. 「飛び入りの打合せ」はありましたか？

●飛び入り打合せの有無 1つだけ選択

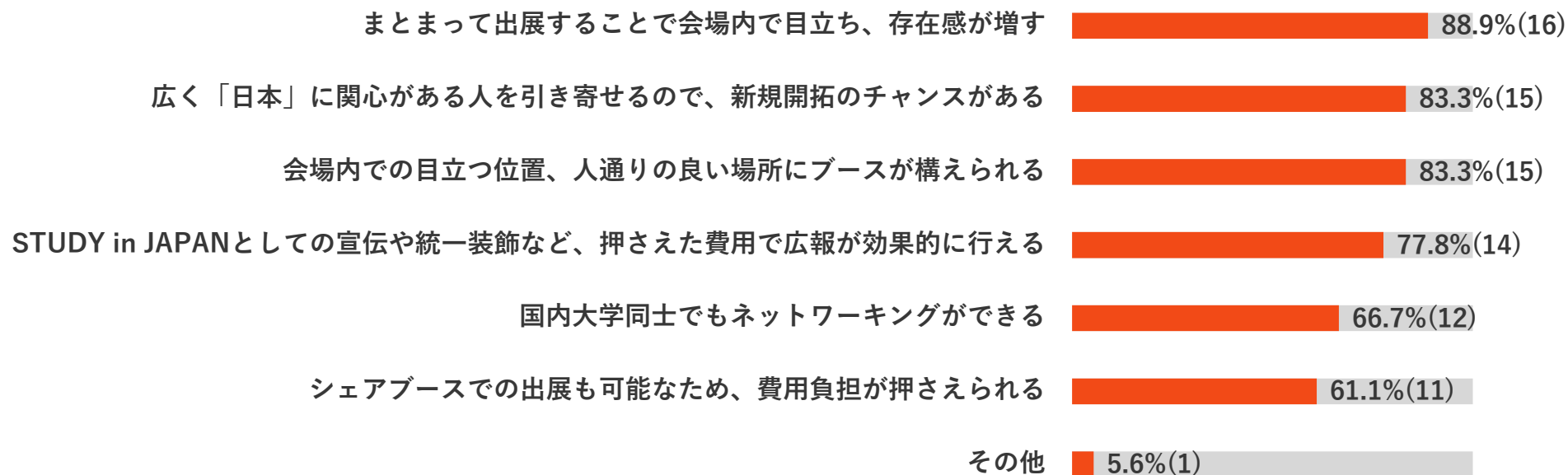


▶打合せのきっかけ 複数選択可



5. 単独ブースでなく「日本合同ブース」で出展するメリットをどこに強く感じますか？

● 合同ブースのメリット 複数選択可



- shareブースでは、不在時の相互対応や、他大学ブース待ちでの自大学の紹介につなげられたり、協力体制が取れて大変勉強になりました。

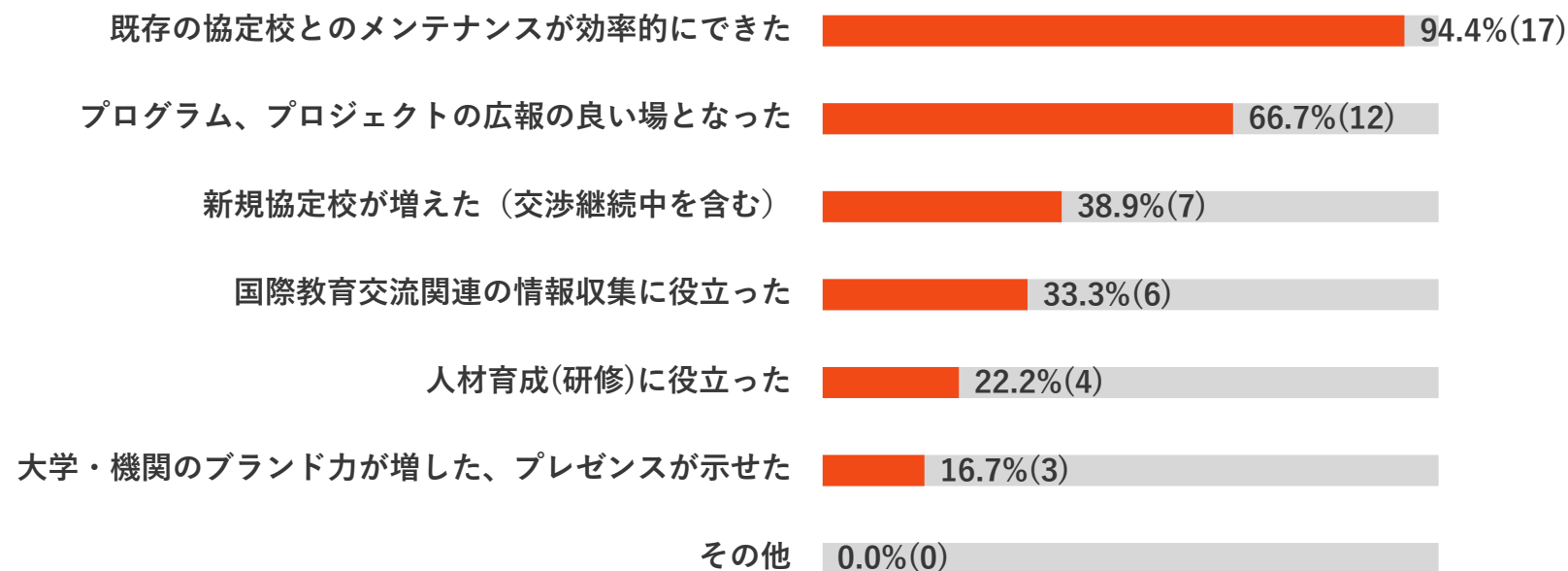
(回答数=18)

6. 出展した成果について教えてください。

出展成果はどの点に現われていますか？

● 出展成果

複数選択可



(回答数=18)

7. 前頁の**出展成果**について、 具体的に教えていただけますか？

自由記述

- 海外の協定校が1校増えた（交渉中）。
- 北欧の大学と協定締結の予定。
- まずは既存の協定校との関係維持を優先して様々な協定校と有意義な面会ができたが、新規の開拓も複数行うことができ、そのうち2～3校とは前向きに協定の話を進めることとなった。
- 効率的に協定校との打ち合わせが行えた
- 国際執行部が参加してくれたので、状況を理解してくれた
- 今回は特にアジアとヨーロッパの大学と面談がありました。また既存協定校とは、コロナ以降で面談し、関係を維持するようにしています。
- 普段訪問できない教育機関や担当者と直接、お話ができたこと。
- メールでのやり取りよりも深いコミュニケーションができた。
- グローバル人事育成の研修として参加しました。留学の情報交換だけではなく、各国のダイバーシティ推進の状況が把握できて、自部署に役立つ有意義な研修となりました。
- コロナ禍に新しく加わったスタッフのトレーニングにAPAIEを活用した。実際に経験することで今後の業務に役立つを考えている。

（回答数=11）

8. APAIE2023バンコク大会に参加されての 全体の感想や出展に関するご意見をお願いします。

●感想・意見

自由記述

- Study in Japanブースが目立つ位置でとても良かったです。
- 会場はとてもきれいで、あまり大きい会場ではなかったですが、ほかの大学のブースにも行きやすいし、この規模感のメリットをたくさん感じました。また合同ブースで、統一した装飾、サクラの模様など、海外大学への宣伝になったかと思います。
- 久しぶりの対面開催で多くの大学と直接面会することができ、非常に有意義な会議となった。
- コロナ禍でなかなか対面で情報共有できなかった既存の協定校とのアップデートなど効率的にできた。
- APAIEはNAFSAやEAIEに比べると規模が小さいため、色々な大学関係者との関係構築がしやすいように感じる。他の東南アジアの大学とのミーティングをしたが、英語で実施をするプログラムを始め、その国ならではのプログラムを作っている印象を持った。日本というブランドは海外から見るとまだまだ魅力的なもののなので、それを活かしたプログラム作りを考える必要があると感じた。
- ブース以外のところで交流ができる場所があったため、新しい人に出会うことが簡単でした。そして、規模がNAFSAより小さかったので、密に交流ができました。
- 欧米からの参加者も多く、投入が少ない中、一定の成果を得ることができた。